



登米市教育研究所

〒987-0511 登米市迫町佐沼字袋向 150-1

HPアドレス <http://www.tome-avc.jp/rese/>

TEL 0220-22-8029(相談専用 22-8125) FAX 22-9114



映画の祭典といえばアカデミー賞。そして、受賞者に渡される像が「オスカー像」です。なぜ「アカデミー像」ではなく「オスカー像」なのでしょう。これには諸説あるようですが、その中にこんな説があります。贈られる像の顔を、アカデミー賞の事務局職員ヘリックさんが「私のおじさんのオスカーにそっくりだわ」と言ったことから「オスカー像」いわれるようになったという説です。その他にもいろいろあるようですが、要するに名前にはそれほど深い意味はないようです。

## 保・幼・小関連研修会



7月31日(水)保・幼・小関連研修会が宝江ふれあいセンターで開催されました。

講師は宮城教育大学幼児教育講座教授の佐藤 哲也先生です。

← <講師の佐藤哲也先生>

「発達段階に応じた保幼小連携の在り方」と題して、ご講話をいただき、後半は各幼稚園等と小学校の先生方との話し合いを行いました。

研修会の概要は以下の通りです。

### ◇ 幼児期における接続期カリキュラムの概要

○ 接続期カリキュラム(生活を繋ぐ、人を繋ぐ、学びを繋ぐ)

<アプローチカリキュラム>(5歳児後半、小学校進学後を意識)

- ・学びの芽生えを大切に生活・協同的な遊びや経験の充実
- ・小学校での生活を予期する内容
- ・小学校での生活に適應するための内容
- ・小学校での学習を予期する内容

<スタートカリキュラム>(小学校入学後、生活科が中核)

- ・小学校生活への適應を意識した内容
- ・小学校での生活に即した内容
- ・幼児期の育ちと学びを活かす内容
- ・協同的な活動を軸とした学級集団づくり



○ 心情・意欲・態度 内面の育ちが現れている姿(幼児期)

- ・健康～様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む
- ・人間関係～友達と楽しく活動する中で、共通の目的を見だし、工夫したり、協力したりする
- ・環境～日常生活の中で簡単な標識や文字などに関心をもつ
- ・言葉～したいこと、してほしいことを言葉で表現したり、分からないことを尋ねたりする
- ・表現～かいたりつくったりすることを楽しみ、遊びに使ったり飾ったりする

※ 遊びを通して総合的に指導する

○ 資質・能力、行動・内面を評価する視点

- ・健康な心と体・協同性・社会生活の関わり・社会生活との関わり
- ・自然との関わり・生命尊重・言葉による伝え合い・自立心
- ・道徳性・規範意識の芽生え・思考力の芽生え
- ・数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚・豊かな感性と表現

### ◇ 幼保小連携に関する改訂内容の留意点

<幼稚園教育要領>

○ 資質・能力～「できる」「わかる」ではなく、心情・意欲・態度として捉えることが必要

<保育所保育指針>

○ 小学校就学時の具体的な姿～達成目標と理解されると危険個人差についても十分な配慮が必要

○ 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿～保育者や教師へのマインド(10の姿) コントロールとして機能することを警戒

<小学校学習指導要領>

○ 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえた指導を工夫～就学前教育における「達成目標」として捉えてはいけない

### ◇ 実践構築への視座

○ 基本的事項の確認

- ・「10の姿」は「子ども像」「達成目標」ではない
- ・幼保小、互いの共通点・相違点を探り、共通理解を図る
- ・園、学校や地域の実態、幼児・児童の実態、保護者の願いを把握する
- ・保育者、小学校教諭、それぞれの希望や要望を把握する



○ 実践を創造する視点

- ・連携から接続への途を探る
- ・幼児と児童を繋ぐ媒体、接着剤を探る
- ・縦、斜め、横の関係など、様々なレベルの交流を探る
- ・「host」と「guest」の関係性、互恵性を考慮する



### ◇ ワークショップ

○ 就学前施設と小学校との違いを確認する

一人一人が登下校、机、施設、人間関係などについて違いや子どもにとっての不安要素を書く



○ グループで発表し合い共有する

○ 2, 3のグループから話し合いの内容を発表してもらう

※ このほか、宮城県教育委員会から出された、宮城県版「保幼小接続期カリキュラムの実戦に向けて」という資料もいただきました。

### <参加者の感想>

- 学区分けして話しやすい中で(ワークショップを)行うことができた。教授のわかりやすい内容も勉強になった。
- 講義の内容も連携についてポイントをおさえてご講話をいただき勉強になった。ワークショップでは様々な先生と意見交換ができ、よかった。
- 10の姿の捉えを再認識できた。分かりやすかったので、今後、生かしていきたい。
- 幼・保の先生が小への就学を考えて教育してくださっていることを知り、小1担任として、子どもたちを良い方向にもっていけるようがんばりたい。
- 就学前施設では、子どもに入学後のイメージや夢をもたせることが大切であること、えんぴつの持ち方をしっかり教えることなど、これまでの研修と違った話が聞けて良かった。

### 【今後の予定】～8・9月～

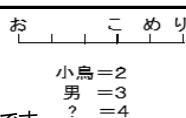
- 8月23日(金) 総合教育センター研修員等夏季研修会(視聴覚センター)
- 9月 3日(火) 第2回初任者研修(視聴覚センター及び市内)
- 9月 6日(金) 第2回算数・数学科研修会(視聴覚センター)
- 9月11日(水) 協働教育兼コミュニティスクール研修会(中田農改センター)
- 9月13日(金) 外国語科研修会(視聴覚センター)

### <No.9の答え>

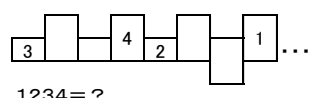
平仮名に直し、「こ」と「り」の間の

目盛りが2という意味です。

目盛り4の平仮名はおとめ(乙女)です。



### 頭の体操



TVの番組で出題された問題です。

?に入る言葉は何?

(ヒント:英語です)